

Public Relations Ichinohē

交通指導隊に辞令交付
西月四日、交通指導隊に辞令が交付されました。
今年は、新たに一人が隊員に加わり、十四人が町内での交通安全を指導にあたります。

Apr
2012
No.597

4

[特集] まちづくり 2012 town planning

いちのへの
地産
笑
For Smile

「災害時に自分たちにできる
食 対応と一緒に考える

Ichinohē Public Relations
APR.2012.4.No.597

いちのへの
地産
笑
For Smile

■編集・発行 一戸町・一戸町広報編集委員会
〒028-5311 岩手県二戸郡一戸町高善寺字大川林 24-9 ☎ 0195-33-2111

■メール ichinohē@town.ichinohē.iwate.jp
■ホームページ <http://www.townichinohē.iwate.jp>



野田村の東日本大震災以後の状況と、野田村の食生活改善推進員が避難所で炊き出しを行ったようすなどが紹介され、発表に聞き入る参加者たち

食

野田村食改協を招いて 一戸町食改協との交流会

野田村食生活改善推進員協議会（貳又ゑな子会長）と一戸町食生活改善推進協議会（柿木洋子会長）が三月十四日、総合保健福祉センターで交流会を開催しました。

交流会に先立ち、野田村食生活改善推進員協議会のメンバーらは、世界遺産登録を目指す御所野縄文公園を見学。

その間に、一戸町食生活改善推進協議会のメンバーらは、雑穀やワラビなど一戸町の食

材を使った御所野縄文弁当を作り、昼食の会場準備をしました。お弁当を食べながら情報交換をしました。

その後行われた交流会では、避難者からは「日ごろ食べ慣れている『煮しめ』や『漬物』が食べたい」と。

「日ごろ食べ慣れている『煮しめ』や『漬物』が食べたい」と。

私は、地震発生後に発令された大津波警報で、避難所に避難し、それから避難所での生活が始まりました。避難所では、自衛隊などがパンやカップラーメンを提供してくれましたが、野菜などが不足していました。そのため、推進員が協力し炊き出しを始めました。避難している人たちからの「日ごろ食べ慣れている『煮しめ』や『漬物』が食べたい」との声に応えて提供し、大変喜ばれました。

日々の生活でも避難生活でも、「食」は子どもから大人まで大切なものだとあらためて感じる機会となりました。

今後も協力をお願いします。

▼広報いちのへ、いつもどっこか違うとお気付きになりましたか？実は、四月からカラーページが増えました。契約内容を見直し、印刷経費を削減しながらも、町の皆さんに楽しみにしてもらいたいと願っています。町の皆さんのが、広報いちのへですぐも取材の際には協力をよろしくお願ひします。

いちのへ課 小寺 学

◎広報いちのへ 4月号の印刷経費は1部 32.6円です



広報いちのへは、環境に配慮し、植物油インキとFSC森林認証紙を使用しています。

編集後記

広報いちのへ

24

町 民 主 体 の ま ち づ く り



稻葉暉町長 施政方針

地域の資源に目を向け、それに磨きをかけることがこれからのまちづくりで重要な要素となるものと考えます。また、絆を大切にし、ともに被災地を支援した年でもありました。絆を固め、身の回りの資源を上手に活用し、無理のない形で運営、継続していくこと、これはまさに縄文人が得意であったことあります。「御所野遺跡を世界文化遺産に」との全町民の思いと重ね合わせ、産業振興、福祉、生活環境など、あらゆる分野において、全町民が同じ認識を持ち、協力して進んでいくよう、全力で行政運営に当たります。

- ・職員の出前講座を、地域づくり事務所へ検討する。
- ・衣類は、リサイクルショップと連携し、拠点回収などに取り組む。
- ・プラスチック類のボイラー燃料などの活用を検討し、分別回収の実施を検討する。
- ・葛巻日影線の歩道整備は、今年度から工事に着手予定。
- ・県道維持工事として、一戸葛巻線、二戸一戸線の舗装補修、青刈橋、双橋、摺糠橋の橋脚補修を予定。
- ・橋梁長寿命化計画を策定する。

- ・生ごみの分別回収について、対象地域を拡大する。
- ・生ごみの発酵処理後の活用方法も検討する。
- ・政府の具体的な制度設計の動きを注視しつつ、最善の努力を続ける。
- ・障がい者の高齢化に対する対応を検討する。
- ・成年後見制度利用支援事業の普及拡大に、継続して取り組む。
- ・国民健康保険事業

- ・公共交通機関のボイラー燃料などの活用を検討し、分別回収の実施を検討する。
- ・衣類は、リサイクルショップと連携し、拠点回収などに取り組む。
- ・職員の出前講座を、地域づくり事務所へ検討する。
- ・プラスチック類のボイラー燃料などの活用を検討し、分別回収の実施を検討する。
- ・葛巻日影線の歩道整備は、今年度から工事に着手予定。
- ・県道維持工事として、一戸葛巻線、二戸一戸線の舗装補修、青刈橋、双橋、摺糠橋の橋脚補修を予定。
- ・橋梁長寿命化計画を策定する。

3月の町議会定例会で、町長と教育委員長の施政方針演説が行われました。

稲葉町長は冒頭で「町長就任に当たってお示した『心に響く社会保障』、『雇用拡大できる産業振興』、『未来をつくる子育て教育支援』、『資源化によるごみゼロ地域社会』の4つを柱としたマニフェストの確実な実施はもとより、少子高齢化、人口減少、それに伴う経済の縮小など、今までのやり方では対応できない大きなうねりの中にあって、強い意志と具体的な行動で道を切り開き、これまで以上に、町勢進展のため全力を傾注いたしますので、地域の主人公である町民各位のより一層のご支援、ご協力をお願い申し上げます」と述べました。

今年度の主な施策、事業をお知らせします。さあ、今年のまちづくりが始まります。

Contents_ 目次

2 - 7

8 - 9

10 - 11

12 - 13

14 - 15

16 - 17

18 - 19

20 - 23

24

今月の表紙



(4月4日、交通指導隊辞令交付式)

まちの予算をお知らせ

みますと、今年度一般会計予算における町債が、前年度の倍程度となっていますが、借り入れた額の約75パーセントが後に地方交付税として交付されるものとなつていてことや、町債全体の総額は順調に減少していることから、今後の財政負担への影響は小さいものと考えられます。

また、今年度一部取り崩すものの財政調整基金をはじめとした基金への積立てが進んでいることも含めて今後も健全化基調が保たれた財政運営を続けることが可能と考えられます。

歳入は、町の自主財源である町税、および依存財源の多くを占める地方交付税について、前年度程度の額を見込んでいます。また、歳出の増に対応するため、財政調整基金の繰入を行います。

歳出は、新規事業で事業費が多額なものがありました。そこで、その他の事業について、緊急性や費用対効果などを考慮して優先度の高いものを予算計上しています。

平成24年度、先に示した稻葉町長と下田教育委員長の施政方針を着実に実行していくため町では、下記に示したとおりの予算を編成しました。

安全、安心して暮らせる町を目指し、皆さんとともに新たなチャレンジが始まります。

安全、安心して暮らせる町を目指し、皆さんとともに新たなチャレンジが始まります

◎平成 24 年度の主な事業

事業名	金額	前年度比		
地方バス運行費補助金	2,494 万円	▲ 411 万円	▲ 14.1%	総務費
デマンド交通事業	2,500 万円	-	-	
住宅用太陽光発電システム導入促進費補助金	90 万円	新規事業		
障害者自立支援給付費	3 億 8,000 万円	▲ 400 万円	▲ 1.0%	民生費
私立保育所運営委託費	1 億 1,850 万円	515 万円	4.5%	
子ども手当給付費	1 億 8,952 万円	▲ 1,000 万円	▲ 5.0%	
各種医療費給付費	6,928 万円	▲ 404 万円	▲ 5.5%	衛生費
各種検診委託費	3,782 万円	▲ 135 万円	▲ 3.4%	
ごみ処理費	1 億 2,036 万円	▲ 819 万円	▲ 6.4%	
地域生ごみ処理実証事業	616 万円	新規事業		
いわて希望農業確立総合支援事業費補助金（農振・畜産）	4,034 万円	▲ 1,957 万円	▲ 32.7%	農林費
鳥海地区ほ場整備費	2,970 万円	2,550 万円	607.1%	
国営馬淵川沿岸土地改良事業（二期）負担金	5 億 9,176 万円	新規事業		
アンテナショップ管理費	1,800 万円	400 万円	28.6%	商工費
中小企業振興資金融資制度	5,722 万円	▲ 76 万円	▲ 1.3%	
住宅リフォーム支援事業	800 万円	-	-	土木費
町道整備事業	9,450 万円	2,570 万円	37.4%	
いちのへ花の丘公園整備費	1,379 万円	1,190 万円	629.6%	
自主防災組織育成事業費補助金	350 万円	新規事業		消防費
御所野縄文博物館展示改修事業	2,789 万円	新規事業		
世界遺産登録推進費	757 万円	589 万円	350.6%	教育費
公共土木災害復旧工事費	1 億 1,500 万円	5,500 万円	91.7%	

◎会計一覧

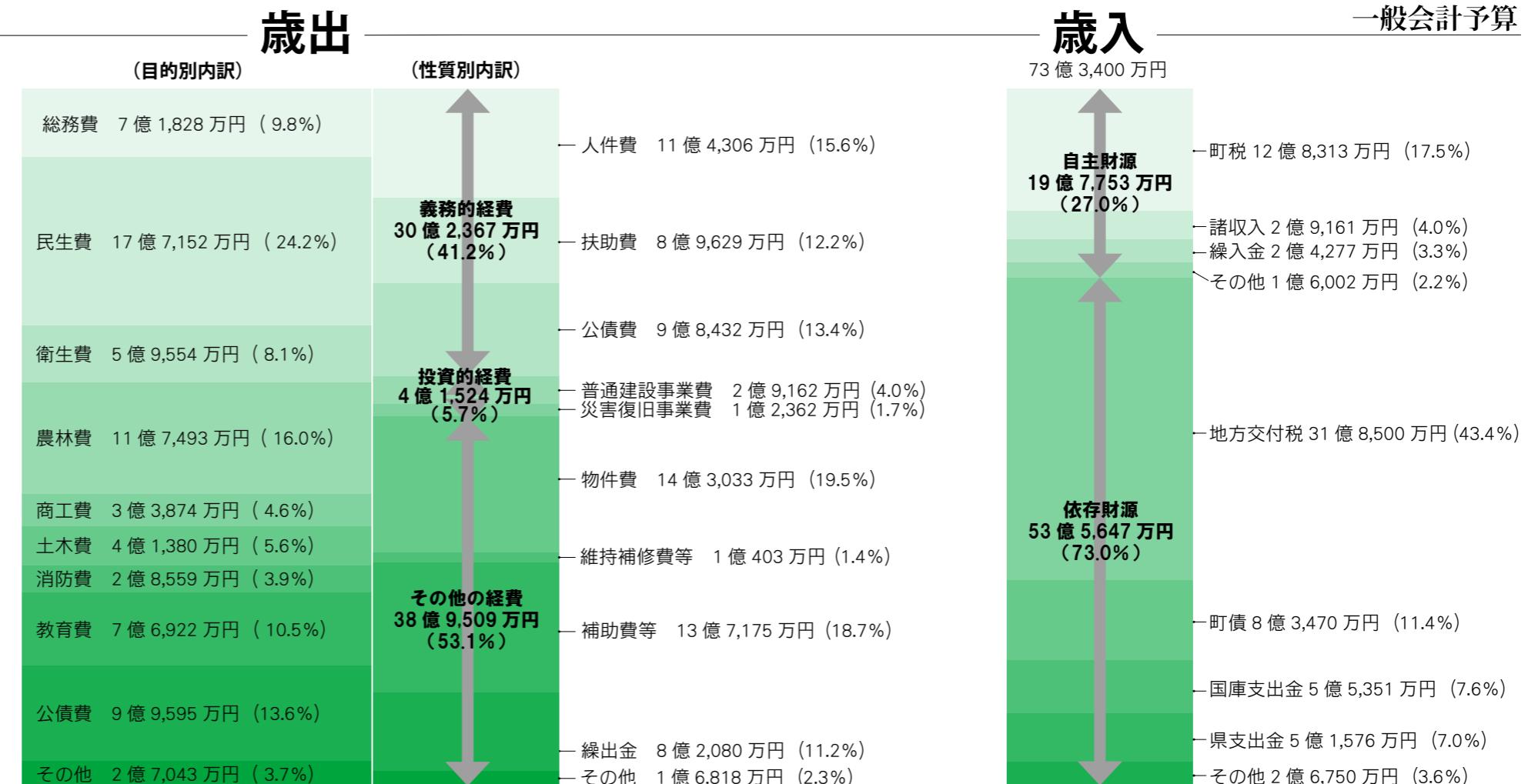
会計名		24年度予算額	23年度予算額	対前年度	
一般会計		73億3,400万円	70億9,100万円	2億4,300万円	3.4%
特別会計	国民健康保険事業	20億5,498万円	20億0,793万円	4,705万円	2.3%
	索道事業	3,850万円	6,212万円	▲2,362万円	▲38.0%
	土地取得	1,036万円	362万円	674万円	186.2%
	工業団地事業	645万円	620万円	25万円	4.0%
	農業集落排水事業	8,377万円	8,077万円	300万円	3.7%
	下水道事業	4億4,397万円	5億0,250万円	▲5,853万円	▲11.6%
	個別生活排水処理事業	4,535万円	3,679万円	856万円	23.3%
	後期高齢者医療	1億3,088万円	1億3,142万円	▲54万円	▲0.4%
	水道事業会計（支出）	4億5,732万円	4億9,538万円	▲3,806万円	▲7.7%
合計		106億0,558万円	104億1,773万円	1億8,785万円	1.8%

歳出の構成比は、物件費（臨時職員賃金、業務委託費、物品の購入費など）が19.5%で最も多く、次いで補助費等（各種団体への補助金など）18.7%、そして人件費が15.6%の順となります。

普通建設事業費は2億9,162万円で、全体の4.0%となっています。補助費等が6億0,366万円増えていますが、これは今年度、国営馬淵川沿岸土地改良事業（2期）負担金5億9,176万円の支出があることが大きく影響するものです。

歳入を構成比順で見ますと、地方交付税が43.4%、伸び率は0.3%の増となっており、地方交付税から振り替わる臨時財政対策債を合わせた比較で0.6%の増となっています。次いで、町税の構成比17.5%、町債が構成比11.4%、国庫支出金が7.6%となっています。

自主財源では繰入金が大幅に増えましたが、依存財源で町債が大幅に増えたことなどから両財源の構成比は昨年度とあまり変わっていません。



成年後見制度を 分かりやすく演劇で

権利擁護市民セミナーを開催

平成二十三年度二戸・久慈地区権利擁護市民セミナー（カシオペア権利擁護等事業推進員会など主催）が二月二十九日、二戸市民文化会館で開かれました。

権利擁護とは、自己の権利を表明することが困難な寝たきりの高齢者や、認知症の高齢者、障がい者の権利やニーズ表明を支援し代弁することです。

セミナーでは、講演会と演劇が行われました。講演会では、「成年後見センター」の設立と成年後見の現状を石橋乙秀理事長



成年後見制度の必要性を説く
石橋理事長



包括支援センター職員などによる演劇。会場は、笑いに包まれていました

が話しました。
演劇は、一戸町包括支援センター職員などが出演。演劇で知る成年後見制度「大好きな町で暮らしたい（友藏さんの一日パート二）」が披露され、参加者は楽しみながら、権利擁護を学んでいました。

平成二十三年度一戸町自主防災講演会が二月二十五日、コミュニティセンターで開催されました。

講演会には、およそ六十五人が集まり、「自主防災力向上（守られる暮らし）」と題して一関市藤沢町第二十四自治会の佐藤幸生防災リーダーが講演しました。

佐藤防災リーダーは「災害はいつ発生するかわかりません。そのため、防災訓練も詳しく計画しないで実施しています。また、地域のつながりの中で一人暮らし老人などの要援護者のリストを作っています」と自身の自治会の活動を紹介しました。

町では、平成二十四年度から自主防災組織を設立するためには必要な費用を補助金として交付します。



一関市藤沢町第24自治会の活動の様子を真剣に聞き入る参加者たち

地域の安全を 自分たちの手で守ろう

一戸町自主防災講演会を開催



「畠のごちそう いちのへピクルス」の開発経緯や今後の展開などを話す

し老人などの要援護者のリストを作っています」と自身の自治会の活動を紹介しました。

町では、平成二十四年度から自主防災組織を設立するためには必要な費用を補助金として交付します。

奥中山高原ブランド品審査会が一月二十四日、役場で開かれました。

奥中山高原ブランド品とは、その品質や意匠などが優れる一戸町を代表できる民芸品や食料品などの商品を認証するものです。



今年は、昨年八月からサラダボウル・こずやが製造販売を始めた「畠のごちそう いちのへピクルス」を新規ブランド品として登録するか否かの審査が行われました。

審査委員からは「体に良さそうで、野菜嫌いの子どもも食べれるのではないか」や「彩りがきれいで見た目も美味しい」との意見が出され、新たな奥中山高原ブランド品として認定されることとなりました。

町を代表できる商品を認定 一戸町の価値を高める

奥中山高原ブランド認定審査会



ナチュラル・エッセイの様子を話す久保代表

久保代表は「生産者の皆さんも、ぜひアンテナショップへ来てください。消費者へ自分が作っている商品の良さを直接アピールすることが、販売増加につながります」と話していました。



アンテナショップでの商品の販売状況が生産者に説明されました

アンテナショップの機能を發揮 今求められている商品とは

ナチュラルエッセイ意見交換会

神奈川県横浜市に町が開設しているアンテナショップ「ナチュラルエッセイ」の久保均代表と、町内の生産者などの意見交換会が二月二十四日、役場で行われました。

意見交換会では、平成二十二年一月のアンテナショップのオープンから来客数や販売額が着実に増加している様子などが説明されました。久保代表からは商品を販売するなかで、困っていることなどが生産者へ伝えられ、生産者からは「どのような商品が好まれているのか」や「原発事故の風評被害はあるのか」など熱心な意見交換が行われ

ました。

久保代表は「生産者の皆さんも、ぜひアンテナショップへ来てください。消費者へ自分が作っている商品の良さを直接アピールすることが、販売増加につながります」と話していました。



塩 1人暮らし老人宅配弁当 分やカロリー控えめ

社会福祉協議会が主催するふれあい弁当が3月9日、一戸地区の1人暮らしのお年寄りへ届けられました。

このふれあい弁当は、食生活改善推進協議会が調理を担当。一戸地区民生委員協議会が各家庭へ届けています。

当日は、朝早くから食生活改善推進協議会の会員が、町民文化センターに集合、塩分とカロリーを控え、食べやすい大きさにそろえられた野菜などを、一つひとつ丁寧に調理。テーブルに200個を超える弁当箱が並べられ、盛り付けました。

でき上がった弁当を、早速、一戸地区民生委員がお年寄りの家を訪ね、一声掛けながら届けていました。

一つひとつ丁寧におかずを詰める食改の会員たち



ごみゼロ・3R推進ポスター表彰 みを捨てないように

平成23年度いわてごみゼロ・3R推進ポスターコンクールの表彰式が3月12日、盛岡市で開かれました。このコンクールで、小学校高学年の部の優秀賞に一戸南小学校の地蔵堂優真さん（6年）が選ばされました。

このコンクールは、ごみのポイ捨てや不法投棄を無くし、3R（リデュース・リユース・リサイクル）による資源循環型の暮らしの実践を呼び掛けることを目的しているものです。

地蔵堂さんは「地球が汚れていかないように、ごみを捨てないことを呼び掛けるポスターを描きました。何気ない気持ちでごみを捨てないようにして欲しいですね」と呼び掛けます。

賞状を手にする地蔵堂さんと工藤校長

町消防団が特別表彰の「まとい」を受賞 日々の活動が認められ

第64回日本消防協会定例表彰式が2月23日、東京都で挙行され、一戸町消防団（坂戸明夫団長）が特別表彰「まとい」を受賞しました。

表彰式には、町から坂戸団長など22人が出席。「日消」と記された金色に輝く「まとい」が授与されました。

坂戸団長は2月29日に、稻葉町長へ受賞を報告しました。

坂戸団長は「消防団の日々の活動が認められ、今回の受賞につながったと思います。これからも防火、災害予防に努め、安心、安全に暮らせるよう活動していくたいです」と話しました。



受賞した「まとい」を囲み記念撮影

小鳥谷中学校で防災講話 身 近な災害を考える

小鳥谷中学校（畠山博明校長、生徒48人）は3月6日、防災講演会を開催しました。

全校生徒が参加し行われた講演会は、東日本大震災から1年を前に、震災の状況を知り、身近でも起こりうる災害について考えることを目的にしました。

講師を務めた二戸消防署一戸分署の荒谷雄幸副分署長は、二戸消防署が野田村で行方不明者の捜索活動の様子などを紹介し、「災害時に自らの命は自らが守る。そのためにも日ごろからの備えが大切です」と話していました。

生徒を代表して瀧澤凜さん（2年）は「今日学んだ防災意識を身に付けます」と決意しました。



災害時の対応について話し合う中学生たち

スマイルタウンづくり事業報告会 地域の課題や問題を解決

スマイルタウンづくり事業報告会が2月25日、コミュニティセンターで開かれました。

スマイルタウンづくり事業の対象は、町内の地域振興会や自治公民館などの23団体。それぞれの団体が、地域住民と協力して、地域の課題や問題などを解決するものです。

町では、それらの活動に対して、20万円を上限に総事業費の3分の2を補助金として交付しています。

平成23年度は、小鳥谷地域振興会、小友地区公民館、中里振興会、樅山地区活性化推進会、鳥越地区活性化推進協議会が事業を報告。バスで研修に出掛けたり、地区のお祭りに活用した事業などが紹介されました。



地域のイベントや活動を写真などを披露しながら紹介する参加者



気温がマイナスの体育館。白熱した試合で、汗が滴り落ちていました

奥中山地区農業研修生とバスケット交流 友 だちも増え、楽しく

昨年の12月から毎週土曜日の夜、奥中山小学校の体育館で奥中山地区に農業研修に来ているフィリピンの研修生と地域の住民がバスケットボールの交流会を行っています。

この交流会は、奥中山高原クラブの坂下嘉美さんが企画。研修生や地域の人たちに声を掛けて実現しました。

研修生のブライアンさんは「フィリピンでは、多くの国民がバスケットボールを楽しんでいます。研修先でもバスケットボールができる、とても楽しいです。奥中山地区の人たちは、優しく、バスケットボールを通して友だちが増えました」と笑顔で話しました。

運動公園だより

Sports

第9回サンビレ陸上記録会 参加者募集します！

「運動会の徒競走や陸上記録会の練習に！」
 「自己ベスト更新に挑戦したい！」
 「自分の体力を知りたい！」
 「陸上競技場で思いっきり走ってみたい！」という人にオススメのチャレンジ陸上記録会です。
 家族や仲間で交流を深めながらいい汗流しませんか？たくさんのご参加お待ちしています♪

■日時 4月22日(日) 13:30 ~ 16:30 (受付: 12:40 ~ 13:10)

■場所 総合運動公園 陸上競技場 (サン・ビレッジ)

■対象者 老若男女・経験問わず参加できます。
 (これまでに3歳~60歳代の方々が参加しています)

■種目 【トラック種目】

50m、100m、400m、1,000m、3,000m

【フィールド種目】

立ち幅跳び、走幅跳、ジャベリックスロー（新種目）

■参加料 何種目参加しても300円（記録証、参加賞、施設使用料含む）

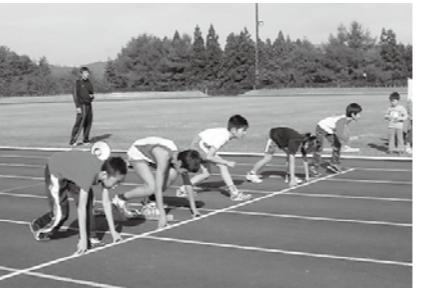
■申込み 申込締切4月19日(木)
 ※開催要項および申込書や歴代記録表が欲しい人は、運動公園までお問い合わせください。

■その他 ①記録会であるため順位による表彰はありません。

②小雨決行、荒天中止とします。

③運営補助（測定などの手伝い）をお願いする場合があります。
 ご理解とご協力をお願いします。

■主催 いちのへサンビレッヂクラブ 二戸地区陸上競技協会



☎ 31-1400 休館日 4月16・23日、5月1・7・14日 開館時間 火～金 10:00 ~ 19:00、土・日 9:00 ~ 18:00

図書館だより

Books

『幸せになる百通りの方法』

荻原浩著、文藝春秋刊

本タイトル『幸せになる百通りの方法』の主人公・田中英雄は食べ物から仕事にと、成功に異様なこだわりをもっています。そんな彼が一人の女性に出会い心境の変化があり…。

滑稽だけど、懸命に生きる人々の7つの短篇です。

『ささえる医療へ』

村上智彦著、エイチエス刊

全国一の高齢化率、財政破綻のまち・夕張。著者・村上医師は、新たな地域医療の再生とまちづくりに取り組んで5年。「ささえる医療」について語っています。

今日は読書びより～まちづくり～

『改訂版 世界遺産と地域再生問われるまちづくり』

毛利和雄著、新泉社刊、2011年

2011年、「平泉」「小笠原諸島」が日本に新たに2件の世界遺産が登録されました。歴史遺産を活かしたまちづくりの取り組みが書かれています。

ぶっくんコラム



～パソコン利用について～

利用者開放用端末パソコンの設定などを不正に変更している方がいます。不具合が生じ、あとの方が利用できません。図書館のパソコンは情報検索など「調査、研究」のためにご利用ください。

なお、設定の変更が相次いたため、USBポートをふさぐことにしました。USBメモリは、ご自身の作成文章などの保存にご使用ください。ご理解とご協力をよろしくお願いします。

4月の図書館展示コーナー

- 今月の展示コーナーは「子育て」
- 子どもの本の特集は「学校生活」

4月のイベント

- おはなし会 4月14日(土) 10:30 ~
場所: 図書館内
対象: 幼児から小学生
- とことこおはなし会 4月20日(金) 10:45 ~
「おはな」
場所: 地域子育て支援センターのびのび
対象: 0歳~3歳児
- としょかん映画会 4月28日(土) 11:00 ~
「うずらちゃんのかくれんぼ」 約15分
場所: 町コミュニティセンター
対象: 幼児から小学生

2011 岩手の読書週間標語 新たな岩手 読書でつなぐ 思いやり (平成23年度読書推進標語奨励賞作品)

総合保健福祉センターだより

Health

健診受けて、心も安心、体も安心

4月～5月にかけて行う町の健康診断（特定健診）を受診しましょう。

■町の特定健診の対象者は次の人です。

○35歳～39歳、40～74歳の国保の人

○75歳以上の後期高齢者

特定健診は、国から義務付けられた健診です。皆さんの健康維持を目的にして、平成24年度には、受診率が70%になることを目標にしています。

食べすぎ、飲みすぎ、運動不足、たばこなど、体に悪いと思っていても、「おいしいものを食べた～い」「楽をした～い」など、誘惑に打ち勝つのは、難しいものです。でも、長年のツケが体にたまつてくるのは、これからです。さあ、「特定健診」を受けましょう。特定健診で体のチェックを行い、健康管理に努めましょう。特定健診は、メタボリックシンドローム（内臓脂肪症候群）に注目した健康診断です。

※メタボリックシンドローム

内臓脂肪型肥満に加え、高血糖、高血圧、脂質異常の2つ以上を伴った状態。（1つを伴うと予備軍）

このままの状態を放置しておくと、心臓病、脳卒中、糖尿病およびその合併症など、重い病気を発生する危険があります。

※特定健診を受けて、メタボリックシンドローム、またはメタボリックシンドローム予備軍と判定されたら、特定保健指導（メタボ・ヘルスアップ教室）に参加し、健康を取り戻しましょう。

なお、特定健診を受診する時には、他の検診も併せて行います。

○35歳以上の人には、大腸がん検診

○40歳以上の人には、肺がん検診

○50歳以上の人には、前立腺がん検診

○65歳以上の人には、結核検診

各種検診を受け、健康管理に努め、今年1年元気に生活しましょう。

■保健カレンダー

・乳児・1歳児健診

5月8日㈬ 13:00～総合保健福祉センター

・ポリオ予防接種

4月25日㈬ 13:00～総合保健福祉センター

5月2日㈬ 13:00～総合保健福祉センター

・4月9日～5月12日まで肺がん、特定健診、大腸検診などを実施します。各健診会場などについては、3月の広報おしらせ版に掲載しています。

・助産師による妊婦・産婦・新生児の家庭訪問と栄養士による栄養相談、家庭訪問を行っています。

※詳しくは、総合保健福祉センターまで
☎ 32-3700

★保育施設開放★

保育施設の解放日については、広報のお知らせ欄、生涯学習カレンダー、子供の家保育園予定表を確認願います。

○開放時間 9:30～11:00

御所野縄文公園だより

History

※御所野遺跡は「北海道・北東北を中心とした縄文遺跡群」として世界遺産登録を目指しています。

春の御所野縄文まつり ～御所野遺跡の世界遺産登録をめざして～

■日時 5月4・5日 10:00～16:00
(5日は、15:00まで)

■会場 御所野縄文博物館



■ステージ発表の内容

○4日…世界無形文化遺産「早池峰神楽」

「八戸えんぶり」、「阿仁根子番楽」

「谷地鬼剣舞」など北東北の郷土芸能団体。

○5日…岩手出身のユニット「アンダーパス」のライブ

一戸小金管バンド、こども民謡、コーラスまべち

※雨天時は、ステージ発表をコミュニティセンター行います。



平成 24 年度 一戸町職員人事異動のお知らせ

○平成 24 年 4 月 1 日付で発令
○氏名後の（ ）内は、前所属です。なお、課内異動の場合は、役職のみ記載。

▶総務部

○総務課
部長兼課長、選挙管理委員会事務局長併任 工藤誠
(教育次長兼生涯学習課長兼コミュニティセンター・図書館長兼中央公民館・一戸地区公民館長兼体育館長兼勤労青少年ホーム館長)

課長補佐、選挙管理委員会事務局長補佐併任 栗橋泰彦
(財政係長)

財政係長 武田昭彦 (まちづくり課主査)
主任 (大槌町派遣) 荒屋敷雅章 (主事)

○選挙管理委員会
選挙係長併任総務課管財係長 中村誠 (税務町民課主任)

○まちづくり課
課長 仁昌寺信一
(総務課長補佐、選挙管理委員会事務局長補佐併任)
主査 久保田太一 (税務町民課主任)

主事補 来田忍 (新採用)

○税務町民課
課長 江六前義則 (まちづくり課長)
課長補佐 (税務担当) 間下日出夫 (副主幹兼国保係長)

副主幹兼国保係長 片野優子 (主任)
主任 澤久保貴弘 (まちづくり課主事)

主事 田村肇 (健康福祉課主事)
主事 山本由佳 (産業課主事)
主事補 畑山知恵 (新採用)

▶福祉部

○健康福祉課
課長補佐兼地域包括支援センター所長兼総合保健福祉センター次長 下村慎悦 (副主幹兼主査兼まちづくり課主査)

主査 柴田忠幸 (二戸地区広域行政事務組合主査)
主査 (二戸地区広域行政事務組合派遣) 土屋邦雄

(税務町民課主任)
主任 田中泰士 (主事)

主事 宮守努

(税務町民課付主事 (岩手県後期高齢者医療広域連合派遣))

▶産業部

○産業課

課長補佐 (産業政策・商工観光担当) 野崎貞春 (課長補佐 (産業政策・商工観光担当)) 兼産業政策係長

課長補佐 (林務・畜産・農村整備担当) 兼林務係長 村中昭一 (選挙管理委員会選挙係長、総務課管財係長併任)

産業政策係長 篠畠恵司 (主任)
主任 田中桂介 (主事)

主事補 田村香織 (新採用)

▶建設部

○水環境課

部長兼課長 片野修 (課長)
主任 山火清明 (主事)

主事 工藤直幸 (主事補)

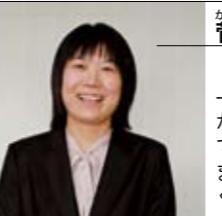
新採用職員 (一般職 3 人、専門職 2 人) を紹介します。



らいでんしのぶ
来田忍 28歳
来田地区出身
生まれ育った一戸をより活気ある街にして、子どもたちにバトンタッチできるよう頑張ります。



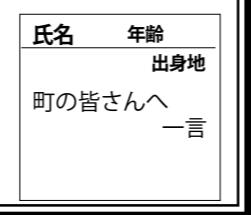
たむら かおり
田村香織 27歳
鳥越地区出身
一戸町のために、一生懸命頑張りますので、よろしくお願ひします。



かんの のりこ
菅野紀子 32歳
紫波町出身
一戸町のいろいろなことを知り、学んでいきたいと思います。どうぞよろしくお願いします。



はたやまとともえ
畠山知恵 23歳
二戸市出身
職務を通して多くを学び、一戸町のために頑張りたいと思います。よろしくお願いします。



にしむらみわ
西村美香 36歳
滝沢村出身
町技なぎなたの普及と 2016 年国体成績を目指し活動します。よろしくお願いします。

二戸消防署だより

Life

野焼き、たき火に注意しましょう

春は山火事の多い季節です。山火事のほとんどは、人為的な原因です。たき火の放置や風の強いときの土手の草焼き、タバコの投げ捨てなどが原因となっています。

1. 「たき火をしたら火が消えるまでその場を離れない炎が見えなくなつても小さな火種から燃え上がることがあります。

2. 「土手の草焼きに注意」
風の強い日の土手焼きは行わない。

3. 「タバコの投げ捨てをしない」
山菜採りの方のタバコが原因と思われる火災も発生しています。

その場を離れるときには、かならず水や土をかけるなどして火の消えたことを確認しましょう。なお、火災と見間違えるくらいの煙などの発生が予想される場合には、事前に「火災とまざらわしい煙、炎の発生するおそれの届け出」をしてください。



一戸交番 ☎ 33-3059

一戸交番だより

police

野外焼却は原則として禁止されています

例年春先になると、廃棄物を野外で焼却する人の姿が見られるようになります。しかし、「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」により、野外焼却は原則として禁止となっています。

**罰則は、5 年以下の懲役
または 1,000 万円以下の罰金。**

昨年は、二戸警察署管内で 5 月～9 月の間に 5 件の違法な野外焼却が見つかっています。

例外として野外焼却が認められるものは

- ・法令に基づく焼却
- ・風俗習慣上の行事のための焼却
- ・農林漁業のためのやむを得ない焼却
- ・学校教育などのための焼却
- ・落ち葉の焼却やその他の軽微な焼却

※上記の場合であってもタイヤ、ビニール、プラスチック類、家庭ごみは焼却禁止です。

水環境課だより

Living

ごみ減量にご協力をお願いします！

◆もったいない・いちのへ運動第 1 弾

これまで燃えるごみとして処理していた、不要な衣類を古着業者と町が協力して回収する試みを始めます。まず、保育所に通っている皆さんを対象に、町立保育所で回収を始めます。その他、子ども会や町内で資源回収を実施する場合、衣類も補助の対象となります。今後、持ち込む場所を順次拡充します。

■H23 年度資源ごみ回収補助金の交付状況について

資源ごみの回収をした団体に資源ごみ回収補助金を交付しています。平成 23 年度では、約 85 トンの資源ごみが回収され、29 団体に 426,780 円の補助金を交付し、最も多いところでは、合計 57,500 円の交付を受けた団体もあります。

町内のごみ減量と資源の有効利用にご協力いただきましてありがとうございました。
引き続き 24 年度も、この補助金は継続します。
新たに資源ごみの回収を考えている町内会などは、水環境課までご相談ください。





お手元に固定資産税の納付書が入った封筒が届きましたら、宛名を確認したうえで開封をお願いします。
納稅金額を確認し、それぞれの納期までに納付してください。

平成二十四年度は、**固定資産税の評価替え** の年です。

固定資産税は、毎年一月一日に固定資産（土地・家屋など）を所有する方に対し、その評価額をもとに算定された税額が課される税金です。

評価額は、地価や物価の変動を考慮した適正な価格に見直すため、三年ごとに固定資産評価基準に基づき評価替えを行います。平成二十四年度は評価替えの年となつており、今回見直された評価額は、原則として平成二十六年度まで据え置かれます。

見直し後の評価額について
は、平成二十四年四月中旬に送付する納税通知書・課税明細書をご確認ください。

○土地の評価替え

土地の評価替えは「固定資産評価基準」に基づき、地目ごとに定められた方法により

行います。また、宅地については、平成二十三年七月一日を価格調査の基準日として、地価公示価格や不動産鑑定士による鑑定価格の七割を目途に、評価額の基準となる価格を見直し、評価の均衡化と適正化を図ります。

住宅用地の負担水準の

行います。また、宅地については、平成二十三年七月一日を価格調査の基準日として、地価公示価格や不動産鑑定士による鑑定価格の七割を目途に、評価額の基準となる価格を見直し、評価の均衡化と適正化を図ります。

が九十^{セント}未満の住宅用地について、経過的な措置として平成二十四年度から二十五年度の間は九十^{セント}に達するまで、五^{セント}ずつ税負担を上昇させています。

地価が下落しているにもかかわらず、税額が上昇する場合があるのは、この負担水準の調整措置によるものです。地方税法の改正により平成二十四年度は九十^{セント}未満の住宅用地について調整措置をいたします。(平成二十三年度までは八十^{セント}未満の住宅用地)同じ建物を新築した場合には建築価格を基準とした評価をいたします。再建築価格とは、今、かる建築費のことです。

○家屋の評価替え

家屋についても、「固定資産評価基準」に基づき、再建築価格を基準とした評価を行っています。再建築価格とは、今、同じ建物を新築した場合にかかる建築費のことです。

平成二十三年一月一日以前に建築された家屋は、前年度の再建築価格に、建築物価の動向（再建築費評点補正率）や古くなったことによる減価分（経年減点補正率）を考慮して算出された再建築価格を基準として評価替えを行います。

建築物価は、前回の評価替え時に比較して、木造で一般的、非木造で四割の下落となっています。また、古くなつたことによる減価は、一般的な木造住宅で二十年、鉄骨造住宅で四十年を経過すると、再建築価格の二十割に据え置かれるため、家屋が存在する限りは評価額がゼロにはなりません。

平成二十三年一月一日以降に建築された家屋は、新しい固定資産評価基準により再建築価格を算出します。

町の皆さん協力で、福祉施設へ眼鏡の寄贈などができました。

昨年10月、2011年ベトナム研修旅行（一戸町国際交流協会主催）が行われ、町内外から10人が参加しました。

- 旅行のねらいは次の3つです。

 - ①一戸町内で働き帰国したベトナム研修生との再会
 - ②ベトナム福祉施設へ町の皆さんから寄付いただいた眼鏡を寄贈
 - ③一戸町で進めている「ベトナムからの医師確保の取り組み」への協力

以下、研修の概要を報告します

○十一月

い状か手交されました。
ベトナムからは副市長自ら
団員一人ひとりの胸に記念の
バッジを付けてくださるな
ど、友好かつ丁重な応対に驚
きとともに感激の一ひととな
りました。

同じ日、ベトナム高官通訳
であるバンさんの孫のゴック
さん(HCM 国家大学付属
高校3年・女性)との留学に
かかる確認書の交換セレモ
ニーも行われ、ベトナム文部
省の関係者・付属高校の代

眼鏡の贈呈式は十月二十二日ホーチミン市内にあります。ベトナム赤十字社において行われ、国と市の赤十字代表が休日返上で出席してくださいました。出国前、日本ソーキングのベトナム実習生の皆さんも眼鏡の洗浄・消毒作業を引受け一役を担いました。

ホーチミン空港の検査に「言葉の壁」が立ちはだかり、やっと持ち込んだ二百九十個の眼鏡でしたが、晴れて下田和夫会長から赤十

研修生との懇談会は、子どもたちも加わり当初予想をはるかに超える六十人ほどの大盛会となりました。

七年ぶりの再会にそちこちで感涙、抱擁。帰国研修生は、思い起こし、日本語を駆使して、当時を振り返り、二時間余りがあつという間に経過。第二部は、実習生宅の訪問と古剣見学の二班に別れ交流し、ボトナムの女性の優しさと強さを目の当たりにした日でもと

今回の旅行は、一戸町国際交流協会の「手作り」のものでした。ですが、ベトナム帰国研修生との感動の再会や、医学留学生の確保に道筋ができたこと、目標を大幅に上回る眼鏡学生の寄付協力者など、多くの成果を上げることができました。

所期のねらいは充分達せられたものと今回の研修旅行にご協力いただきました関係各位に厚く御礼を申し上げます。

十月二十二日

ゴックさんのはばらしいあ
いさつに逸材の片鱗を垣間見
ることができました。懇親会
も「北国の春」で盛り上がり、
両国の友好ムードも一気に高
まつた感がありました。

次いで稻葉町長（岩手県嘱託村会会長）が、大震災・大津波におけるベトナム国からの支援に感謝の言葉を述べました。

ベトナム国は、平均年齢が二十七歳ほどで、高齢者を見かけるのは本当にまれです。路上に溢れるバイクの多さに驚きとともに底知れぬパワーさえ感じました。また、メコン川やハロン湾（世界遺産）のクルーズも参加した皆さんにとって云々えぬ思い出と

※数字はすべて2月分です

事故

人身事故	1件	(前月2件)
死者	0人	(前月0人)
傷者	1人	(前月2人)

犯罪

刑法犯総数	4件	(前月2件)
うち侵入窃盗	0件	(前月1件)
うち乗物盗	0件	(前月0件)
うち非侵入窃盗	3件	(前月1件)

火災・救急

火災	1件	(前月1件)
救急	69件	(前月119件)
急患	県立一戸病院:時間内とは、平日8:30~17:15、時間外はそれ以外	
時間内	14件	(前月23件)
時間外	275件	(前月317件)

ごみ

排出量	228トン	(前月263トン)
町民1人1日	407グラム	(461グラム)

人の動き

人口	14,280人	(-10人)
男	6,866人	(-7人)
女	7,414人	(-3人)
世帯数	5,784世帯	(±0世帯)
転入	17人	(31人)
転出	14人	(29人)
出生	6人	(13人)
死亡	19人	(35人)

※転入・転出・死亡は1月からの累計



まちの お知らせ ひろば

問=問合せ、申込み先

お知らせ / Information

軽自動車税・固定資産税の減免について

下記に該当する人は、期限までに税務町民課へ提出してください。

■軽自動車税の減免対象

身体などの障がいがある方で、歩行が困難な方が所有する軽自動車・常時介護する者が運転する軽自動車

■固定資産税の減免対象

貧困により生活のため公私の扶助を受ける方が所有する固定資産、または公民館・集会所、消防屯所など

■申請期限

4月24日(火)

■その他

減免申請書に納税通知書(軽自動車税の場合は運転免許証、障がい者手帳)を添えて税務町民課へ提出してください。

問 税務町民課 ☎ 33-2111 内線124

公衆用道路の非課税扱いについて

所有している土地が公衆用道路として使用されている場合、状況により固定資産税が非課税となることがあります。該当する土地をお持ちの方は、下記まで連絡してください。

問 税務町民課 ☎ 33-2111 内線124

太陽光発電の補助金を開始します

町では4月1日から、国の補助金の交付を受けて住宅用太陽光発電システムを設置した人に、1kWあたり3万円(上限9万円)の補助金を交付します。交付を希望される人は、下記までお問い合わせください。

■補助対象者

次のいずれにも該当する者。

- ①町内に住所を有する者または住所を有する見込みの者
- ②平成24年4月1日以降に国の補助金交付決定通知書を受理した者
- ③町税の滞納その他町に対する債務の不履行がない者

■補助対象事業

町内の住宅(店舗兼住宅を含む)に新規に設置する太陽光発電システムで、次のいずれにも該当するもの。

- ①太陽電池の最大出力が10kW未満であるもの
- ②国補助事業に定められた性能および安全性などの技術的仕様を満たすもの
- ③未使用品であるもの

■補助金額

太陽電池の最大出力1kWあたり3万円(上限9万円)。千円未満は切り捨て。

■申請方法

国の補助金交付決定通知書を受理してから2カ月以内に、まちづくり課に備え置いている補助金交付申請書に記載のうえ、必要書類を添付して提出してください。(申請書は、HPに掲載予定です)

問 まちづくり課 ☎ 33-2111 内線213

株式会社一戸芝浦電子へ社名変更しました

岩館地区にある(株)野田製作所は、3月2日に会社名を変更しました。新会社名は「株式会社一戸芝浦電子」です。

1979年から創業し、これまでの32年間一戸町で企業活動してきました。町名の『一戸』と、親会社である株式会社芝浦電子の『芝浦電子』をいただき「株式会社一戸芝浦電子」としました。

これからも地域活性化にお役立てできるよう従業員一同頑張っていきますので、ご支援のほど、よろしくお願い申し上げます。

問 株式会社一戸芝浦電子 ☎ 33-4315
一戸町岩館字沢田24-1

春のクリーンデー

縄文公園内の清掃作業を行います。御所野遺跡に興味のある人、ボランティア活動をしてみたい人など、どなたでも参加できます。終了後には昼食が出ますので、お楽しみに♪たくさんの参加をお待ちしています。

■日時 4月22日(日) 9:30~12:00
(縄文博物館に9:00集合)

■場所 御所野縄文公園

■その他

○軍手を持参し、汚れてもよい服装でお越しください。

○雨天中止となります。(小雨決行)

問 御所野縄文博物館 ☎ 32-2652

抗体保有率の低い年齢層のポリオワクチンの追加接種について

厚生労働省の調査で、昭和50年から昭和52年に生まれた人は、他の年齢層に比べてポリオの免疫を保有している割合が低いことが明らかになりました。

この期間に生まれた人が、ポリオの発生が多発しているアフリカや東南アジアなどに渡航される場合や自分のお子さまがポリオワクチンの接種を受ける際に感染する危険性が高いと考えられるため、再度ポリオワクチンの追加接種を受けられることをお勧めします。

■対象者 昭和50年1月1日~昭和52年3月31日までの出生者のうち追加接種希望者(ただし、すでに追加接種された人は除く)

■料金 無料

■日時 4月25日(水)、5月2日(水) 13時~13時20分

※当日は、お子さまの接種者と一緒にすることになります。

■場所 総合保健福祉センター

※接種後に30分間状態観察してから帰宅していただきます。

■申込み 事前に下記問い合わせ先までお申し込みください。

※接種希望者には、後日予診票および説明書を送付します。

■その他 ①当日医師の診断により投与を受けられない場合(下痢・発熱など)もありますので、健康に注意して受けるようにしてください。
②他の生ワクチン(麻しん・風しん・BCGワクチンなど)の接種を受けた後1ヶ月を経過していない方は受けられません。
③この予防接種は、予防接種法に基づくものではなく、希望者に実施するものです。

問 健康福祉課 保健班 ☎ 32-3700 内線613

戸籍だより (2月届出分)

☆お誕生おめでとう

名前	保護者	住所
加藤 愛菜	俊寛・里菜	一戸小井田
柴田 芽吹	信弘・亜希	鳥越字過利石
野中 陽翔	信幸・貴子	小島谷穴久保
小館 一輝	正晃・恵梨香	楢山小木田

♡結婚おめでとう

名前	住 所
村田 義彦	月輪稲荷前田
大崎 奈穂子	九戸村
柴田 亮	鳥越悪戸平
八重樫 祐季奈	盛岡市

■ごめい福をお祈りします

名前	住 所	年齢
白木 ミネ	岩館馬場平	96
岩渕 正	一戸小井田	84
中村 啓子	楢山双畑	51
駒木 トモ	高善寺古館平	86
金石 ハル	中山小稻荷	95
大釜 輝子	一戸北館	81
吉田 一二	楢山茶屋場	72
赤畠 定治	平糠東	92
小西 シケ	中山小稻荷	97
瀧澤 竹美	小島谷野里	73
上山 タキ	奥山西田子	90
柴田 コマツ	鳥越悪戸平	100
野中 喜七	小島谷野中	83

(敬称略)

※広報への掲載を希望しない方は、届出の際に戸籍係にお申し出ください。

町民割引券について

奥中山高原温泉と来田保養センターでは、まちの皆さんを利用しやすいよう、右の割引券を発行します。

点線で切り取り、ご利用の際にプロントなどに提出すれば右記の料金になりますので、ぜひご利用ください。



○奥中山高原・来田温泉 町民割引券

(広報4月号-H24.5.31まで有効)

この券で、下記の温泉の日帰り入浴(入浴のみ)を割引金額でご利用できます。
※本券1枚につき1人有効。

おとな	◇煌星の湯	◇朝朱の湯

</tbl_r



まちの お知らせ ひろば2

問=問合せ、申込み先

お知らせ Infomation

まちの健康相談室からお知らせ

- 4月17日(火) 栄養
10:00～17:00
(骨年齢測定は午前のみ)
- 18日(水) 傾聴ボランティア
10:00～15:00
- 23日(月) 介護
10:00～17:00
- 25日(水) 傾聴ボランティア
10:00～12:00
おはなしランド
13:00～15:00
- 26日(木) 心配事
10:00～17:00
- まちの健康相談室 ☎ 33-4535

広報クイズ

～一戸町共通商品券～
(1,000円分)
3人にプレゼント！

先月号の当選者は、柴田登喜子さん（烏越川原田）、高間木美智子さん（平糠高間木）、江戸堀さん（奥中山西田子）。おめでとうございます。

◎広報クイズです。
▼問題
一戸町の食生活改善推進員協議会と一緒に研修したのはどこのメンバー？
→「○田村」

ハガキに、クイズの答え、住所、氏名、年齢（学校名・学年）、電話番号を記入し、応募してください。

〒028-5311
一戸町高善寺字大川鉢24-9
広報クイズ係までお送りください。
(4月25日締切り)

※余白に町政への提言や広報の感想などを自由にお書きください。

★保育施設開放★

鳥海保育所 ☎ 32-2220
小鳥谷保育所 ☎ 34-2524
奥中山保育所 ☎ 35-2319
は5月8日(火)9:30～12:00
◎子育てサークルのびのび
(☎ 32-3770)は、
平日の月・水・金 9:30～14:30
※場所は、旧保健センター

i ショップホームページ <http://waza.town.ichinohe.iwate.jp/>

※携帯電話で左のバーコードを読み取るか、上記のURLからご覧ください

東日本大震災の義捐金を受け付けています

東日本大震災の義捐金を受け付けています。

■募金箱設置場所

- ・一戸町役場
- ・総合保健福祉センター
- ・小鳥谷支所
- ・奥中山支所
- ・鳥海地区公民館

■募金箱設置期間

9月30日(日)まで

岩手県共同募金会一戸町分会

日本赤十字社一戸町分區
(総合保健福祉センター内)

☎ 33-2111 内線631

消費生活サポーターを募集しています

消費者被害のない地域づくりをすすめるため、消費生活に関する活動を行う消費生活サポーターを募集しています。

■主な活動内容

- ・地域住民に対する消費生活に関する情報の提供
- ・地域において悪質業者などの情報を得た場合における県への情報提供
- ・不当な表示や景品に係る情報の県への報告

県民生活センター ☎ 019-624-2586

協会けんぽから 保険料引き上げのお知らせ

協会けんぽ（全国健康保険協会）は平成24年4月から保険料率を改定します。皆さまのご理解をお願い申し上げます。

平成24年度では料率引き上げ抑制に向け、国庫補助の増額や高齢者医療制度への拠出金の見直しなどを訴えていくほか、医療費適正化や保健事業の推進、そして経費削減に一層努力します。

■健康保険料率 9.45%→9.93%

■介護保険料率 1.51%→1.55%

協会けんぽ岩手支部 ☎ 019-604-9009

医療制度見直しの凍結 延長します

70歳～74歳の方の医療費の窓口負担について、平成24年4月から平成25年3月までの1年間、引き続き窓口負担が1割に据え置かれます。

※制度改正により平成20年4月から2割負担に見直されることとされていたものを引き続き、さらに1年間延長し、1割負担とするもの。
※3割負担となっている人、すでに後期高齢者医療制度へ移行している人は除く。

税務町民課 ☎ 33-2111 内線116

◎一戸町における放射線量の測定結果について

(単位：マイクロシーベルト／時)

測定日	測定地点 (小学校)	測定 箇所	測定値			測定地点 (中学校)	測定 箇所	測定値		
			5cm	0.5m	1.0m			5cm	0.5m	1.0m
3月29日	一戸	校庭	0.031	0.025	0.022	一戸	校庭	0.023	0.039	0.018
		雨どい	0.104	0.053	0.047		雨どい	0.044	0.043	0.035
	鳥越	校庭	0.020	0.017	0.024	小鳥谷	校庭	0.033	0.019	0.015
		雨どい	0.057	0.046	0.036		雨どい	0.082	0.037	0.036
	一戸南	校庭	0.032	0.033	0.023	奥中山	校庭	0.028	0.020	0.026
		雨どい	0.035	0.045	0.036		雨どい	0.063	0.048	0.039
	鳥海	校庭	0.028	0.017	0.014		校庭	0.028	0.017	0.014
		雨どい	0.036	0.035	0.035		雨どい	0.043	0.039	0.033
	小鳥谷	校庭	0.042	0.035	0.028		校庭	0.024	0.018	0.021
		雨どい	0.043	0.039	0.033		雨どい	—	—	—

測定日	測定地点 (幼稚園)	測定 箇所	測定値		
			5cm	0.5m	1.0m
3月14日	一戸	園庭	0.035	0.035	0.042
		雨どい	0.091	0.055	0.042

※測定値は、測定箇所で1分間（10秒間隔で6回）計測した値の平均値です。
※厚生労働省・文部科学省が、望ましいとしている自然放射線以外の外部被爆の放射線量、年間1ミリシーベルト以下（=0.19マイクロシーベルト/時）を下回っています。（雨どいなどは除く）
※屋外活動が制限される上限の暫定数値（3.8マイクロシーベルト/時）を大幅に下回っています。

学校教育課、水環境課 ☎ 33-2111 内線501、226

消火器を適切に廃棄しましょう！

消火器は、一般ごみとしての回収ができないため、専門業者に廃棄を依頼することになっています。ごみ捨て場などに放置されると子どものいたずらなどにより容器が破裂するなどの事故の発生も予想されます。廃棄、リサイクルは有料となりますが、正しく安全に処理されますようご協力願います。

詳しくは、右記などの購入した業者または、下記までお問い合わせください。

問二戸消防本部 消防課 ☎ 23-7119

二戸消防署 一戸分署 ☎ 33-3119

社団法人日本消火器工業会 ☎ 03-3866-6258（代表）

○(社) 日本消火器工業会へ依頼する。

①「特定窓口」（購入先など）に持ち込みまたは回収を依頼する。

○ゆうパック専用コールセンターへ依頼する。

①コールセンター「☎ 0120-822-306」へ電話。

②専用の箱が送られてくるので、消火器を入れて返送する。

※費用は2,310円（税込）。費用には、リサイクルシールおよび運搬費、保管費を含む。

ただし、家庭用消火器の薬剤量3kg、または3ℓ以下のもの。法人は利用できない。

I G Rいわて銀河鉄道 通学定期券 ~購入費用の一部を補助します~

■申請方法

① I G R通学定期補助金交付申請書兼請求書に申請者の住所・氏名など必要事項を記入し、有効期間終了後の使用済定期券を添えて I G Rの通学定期販売駅に提出し、証明を受けてください。

②証明を受けた I G R通学定期補助金交付申請書兼請求書を役場まちづくり課または各支所に提出してください。

③補助金の交付は5月と11月の年2回で、申請者に通知します。

※ I G R通学定期補助金交付申請書兼請求書は、I G Rの各駅にあります。

※4～9月使用済分は10月末日までに、10～3月使用済分は4月末日までに申請してください。

問一戸町並行在来線利用促進協議会（まちづくり課内）
☎ 33-2111 内線211

通学定期は、できるだけ、町内の駅で買いましょう。

+ 一戸町および近隣市町村の休日当番医

■休日当番歯科医 ▶診察時間 9:00～12:00

■休日急患当番医 ▶診察時間 9:00～17:00

月日	医療機関	地区	電話	医療機関	地区	電話	医療機関	地区	電話
4月15日	菅原歯科クリニック	二戸	23-1180	藤田内科	二戸	38-2772	さわやかクリニック	岩手	62-2043
22日	渡辺歯科医院	二戸	23-2052	二戸クリニック	二戸	25-5770	一方井診療所	岩手	62-2659
29日	ムカイダ歯科クリニック	軽米	46-4636	すがわら消化器内科	二戸	23-2879	北上脳神経外科クリニック	岩手	61-3636
30日	ぼっぽ歯科クリニック	一戸	31-1182	金田一診療所	二戸	27-2205	沼宮内地域診療センター	岩手	62-2511
5月3日	こしみず歯科クリニック	一戸	33-4618	むらかみ医院 いたみのクリニック	軽米	48-1500			